

令和4年度 健康松戸21Ⅲ推進部会 議事録

- 1 日 時 令和4年10月26日（水） 15時00分～16時30分
- 2 場 所 中央保健福祉センター 集団指導室
- 3 出席者

【委員】

部会長	古畑 公	聖徳大学人間栄養学部
職務代理	藤内 圭一	松戸歯科医師会
委員	小田 清一	前千葉県病院事業管理者
委員	石川 涼子	松戸市PTA連絡協議会
委員	加藤 和孝	松戸市スポーツ推進委員連絡協議会
オブザーバー	水嶋 春朔	横浜市立大学（松戸市健康づくり推進会議会長）

【委員欠席者】

委員	福ヶ迫 喜彦	流通経済大学スポーツ健康科学部
委員	笹田 和裕	松戸市医師会
委員	吉田 貴行	松戸市薬剤師会
委員	大熊 蝶子	一般市民

【事務局】

健康福祉部	部長 大淵俊介
国保年金課	課長 松井幸一、主査栄養士 井上久美子
子ども家庭相談課	課長 川上和志、母子保健担当室 保健師 今野さやか
地域包括ケア推進課	課長補佐 加藤光
健康推進課	課長 渡邊剛史、技監補 渡辺節子、技監補 村岡恵、 保健師長 若井好、栄養士長 石川有希子、 主査栄養士 安川由江、主査歯科衛生士 和田奈緒子、 主査保健師 吉田順子、主任保健師 伊藤ひとみ、 主任主事 斎藤啓祐、保健師 松田祭、保健師 松田麗茄

4 議 事

(司会)

定刻となりましたので、ただいまより令和4年度健康松戸21Ⅲ推進部会を開催いたします。本日は、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。司会進行を務めさせていただきます。健康福祉部健康推進課吉田と申します。どうぞよろしくお願い致します。

本日の会議開催にあたりまして、机上に配付しました「健康観察シート」は、ご記入いただきまして、会議終了時に机の上に置いてご退出いただけますようお願いいたします。

それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。

はじめに、健康松戸21Ⅲ推進部会の開催にあたり、健康福祉部長大淵俊介よりご挨拶申し上げます。大淵部長、お願いいたします。

(部長挨拶)

皆様、こんにちは。松戸市健康福祉部長の大淵でございます。

本日はお忙しい中、健康松戸 21III 推進部会にご参集いただきまして誠にありがとうございます。令和 4 年度健康松戸 21III 推進部会の開催にあたりましては、BA.5 系統により感染が拡大した「第 7 波」もピークアウトを迎える中、今のところ高止まりとなっておりますが、本市におきましても 9 月 26 日よりオミクロン株対応ワクチンの接種が始まりました。11 月 6 日には応援団の皆様にもご協力いただき、3 年ぶりに「秋の健康フェスティバル 2022」を開催いたします。市民の皆様の健康づくりを更に推進するため、今年の健康フェスティバルでは様々な健康度チェックを体験いただける内容で企画しております。各分野の取組みにより健康づくりを後押しし、また、フレイル予防の取組みにより健康寿命の延伸がさらにすすむことを目指して、引き続き健康松戸 21III の推進に取り組んでまいります。

委員の皆様には、健康松戸 21III の推進に向けて建設的なご意見を頂戴したいと存じます。本日もご審議の程、よろしくお願いいたします。

(司会)

ありがとうございました。続きまして、健康松戸 21III 推進部会 古畑部会長よりご挨拶をいただきます。古畑部会長、よろしくお願いいたします。

(古畑部会長)

みなさんこんにちは。改めまして部会長を仰せつかっております。引き続きよろしくお願いいたします。

(司会)

ありがとうございました。会議に入ります前に、お手元の資料の確認をさせていただきます。「配布資料一覧」とあわせてご確認ください。

本日の資料としまして、事前にお送りしていたものを申し上げます。配布資料一覧、次第、委員名簿、松戸市健康づくり推進会議条例、松戸市情報公開条例一部抜粋、会議資料としましては、資料 1 分野の取組み状況報告資料、資料 2 歯科健康診査における満足度・ニーズ調査の結果、資料 3 まつど健康マイレージ令和 4 年度上半期の実績、資料 4 家族 de チャレンジ健康づくり報告、資料 5 秋の健康フェスティバル、資料 6 健康松戸 21 応援団の表彰対象一覧、資料 7 市民アンケート調査、また当日追加資料としまして、本日机の上に置かせて頂きました席次、それからチラシ類がいくつかありまして、「たばこスワンで思いやり」「家族 de チャレンジ健康づくり応募用紙」「家族 de チャレンジ健康づくりカレンダー」という中に数種類チラシが入っているもの、「健康づくりサポートします」という青色のチラシ、「ウェブ検診予約システムが新しくなります」というカード、以上になります。不足はございませんでしょうか。お手元のない資料がございましたら、お声掛けください。

続きまして、「会議及び議事録の公開」につきまして、ご説明させていただきます。

本会議は非公開とする特別な理由がないことから、本市情報公開条例の趣旨にのっとり、会議および議事録は公開いたします。また、議事録では、委員の前に苗字を付けた議事録を作成させていただくことになっておりますので、よろしくお願いいたします。

これより松戸市健康づくり推進会議条例第 8 条第 4 項により、議事の進行を古畑部会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(古畑部会長)

それでは、進めさせていただきます。配布しております次第にそって進めていきたいと思えます。まず次第の議題 (1) 健康松戸 21III の進捗について、事務局よりお願い致します。

(司会)

議題の前に本日の会議の成立についてご報告申し上げます。本日は笹田委員より欠席のご連絡を頂いております。また福ヶ迫委員、吉田委員、大熊委員がまだ到着されていない模様です。健康松戸 21III 推進部会の委員 9 名中、現時点で 5 名のご出席を頂いておりますので条例第 7 条第 2 項により、健康松戸 21III 推進部会として成立しておりますことをご報告いたします。

なお、本日、健康づくり推進会議の水嶋会長には、オブザーバーとしてご参加いただいております。

また傍聴につきましては、本日特に傍聴希望はございません。では議事の方に戻らせて頂きます。

(古畑部会長)

では 1 つ目の説明を事務局からお願い致します。

(事務局)

議題 (1) 健康松戸 21III の進捗とさせていただきます。令和 4 年度事業プラン、こちらは 5 月の健康づくり推進会議の時にご審議頂いた事業プランになりますが、こちらに基づいた取り組みの今年度の進捗状況ということでご報告をさせていただきます。

資料 1 にてお示しをしていますが、その中で、本日は、薬剤師会と連携した新規の取組みをすすめている喫煙分野、それから 5 月の推進会議の際に受診率がまだ集計中でご提示できていなかった、がん検診の結果も含めた取り組みのご報告、3 つめに、松戸市成人歯科健診の受診率向上に向けた取り組みを検討するため、ニーズ調査を実施した歯・口腔の健康、4 点目にまつど健康マイレージ、家族 de チャレンジの部分を含めてとなりますが、以上本日は 4 つの分野から進捗のご報告をさせていただきます。

(事務局)

喫煙分野を担当させていただきます松田と申します。資料 1、1 ページをご覧ください。令和 4 年度のポイントにあげておりました 3 つの取り組みについてご報告いたします。

まず、1 つ目に (2) 高校生等未成年者への取り組みといたしましては、7 月中旬に市内の公立および私立の高校生に対し啓発チラシを配付いたしました。ご協力いただける学校 9 校には、夏休み後、対象者である高校生にチラシ内容の理解についてアンケートを依頼しております。アンケートは、10 月中旬までに回答いただくよう依頼しており現在回収中です。集計後に教職員と情報共有を行った上、11 月に事業の効果について評価してまいります。

また、今年度の取り組みには記載しておりませんが、未成年者とその家族に対する啓発とし

まして、家族 de チャレンジに参加した家庭に対して啓発チラシを作成いたしました。小学生に向けては、喫煙による健康影響の知識をクイズ形式で、保護者に向けては、COPDや禁煙についての啓発と、未成年者に与える受動喫煙の害および受動喫煙防止を呼び掛けた内容となっております。こちらの方は、本日当日資料として配布させて頂いております。未成年者への早期教育および受動喫煙防止の啓発を行うことは将来の喫煙率低下のため重要であると考えております。今後も継続して取り組んでまいります。

2つ目に、(4) ②③望まない受動喫煙を防止する環境整備につきましては、市民の方から受動喫煙についてお問い合わせをいただいた際には、関係課と連携をとりながら対応を行っております。10月25日現在、延べ47件のお問い合わせをいただいておりますが、昨年度と同様、路上や私有地での受動喫煙に関する相談が多い傾向となっております。このことを踏まえ、今年度は、町会・自治会掲示板に受動喫煙対策に関するポスターを掲示し、啓発を行いました。今後も喫煙がマナーからルールへ変化していることを広く周知し、望まない受動喫煙をなくす環境づくりに取り組んでまいります。

3つ目に、今年度新規の取り組みといたしましては、(8) ①薬剤師会と協議の上、禁煙啓発ポスターを作成しております。本日、別紙で配付しております。同ポスターは、今後禁煙支援薬局をはじめとした関係各所へ掲示依頼する予定です。喫煙者だけでなく、周囲にいる方にも喫煙による健康影響や禁煙に関する相談先を周知してまいります。また、昨年度に引き続き、禁煙補助薬であるバレニクリンの製造が停止しておりますことから、ニコチンガムやパッチなどの禁煙補助薬を利用した禁煙を望まれる方には、禁煙支援薬局等を紹介する等、喫煙者が禁煙したいと感じた機会を逃さないように、薬剤師会と情報共有しております。以上、「喫煙分野」についてのご説明となります。

(事務局)

続きましてがん検診の分野についてご報告します。ページは3ページからご案内します。

3ページ下方の【参考】にがん検診の受診者数・受診率というところで記載をしておりますが、令和元年度、2年度、3年度と記載をしております。令和3年度につきましては、受診者数・受診率とも新型コロナウイルス感染症の影響により低下した令和2年度に比べ、大きく改善したものの、コロナ以前の令和元年度の受診者数・受診率までは回復していない状況です。なお、今年度の4~6月の受診者数は、前年度比で概ね12~22%程度増加しております。

次に、4ページ下方の【令和4年度の取り組みの進捗】についてご報告します。まず、取り組み(2) ②お子さんを連れたママのがん検診受診を支援するママサポートは、コロナにより中止していましたが、「一時預かり業務委託契約」による実施に変更し3年ぶりに再開しました。今年の4月~7月までの乳がんエコーとマンモグラフィーおよび子宮頸がん検診において、計8回延べ37人の利用がありました。そのうちの16人、43%が乳がん検診のエコー検査時の利用であり、他の検診の一日の利用人数が2~4人であるのに対して、7~9人と、エコー検査時の利用が多くなっております。小さなお子さんをお連れの方が受診しやすい環境を整え、引き続き受診率の向上を目指してまいります。

2点目として、同じく取り組み(2) ②「Webけんしん予約システム」については7月に機能の確認を行いました。現在、集団検診の予約は電話と「ちば電子申請サービス」により行っていますが、「Webけんしん予約システム」ではカレンダー画面から空いている日程を選ぶことで簡単

に自分が受けられる検診の予約ができます。市民の方が次年度からスムーズに「Web けんしん予約システム」をご利用いただけるよう、今後も、運用開始に向けた準備を行っていきます。今日お手元に配布しました名刺サイズの啓発カード、これを主に集団検診会場で、配布を1月位から本格的に始めようというところで今考えておりました、それら周知に努めております。

3点目、(1) ⑩ 若い世代への受診勧奨としましては、初めて市内4か所の大学に子宮頸がん検診の受診勧奨チラシによる啓発を依頼しました。また、10月には家族 de チャレンジ健康づくりに参加した保護者に対して、参加賞に同封し、がん検診の受診を啓発するチラシを配布しました。

今後も様々な機会を活用し、コロナ下であってもがん検診は必要であることを啓発し、受診率の向上に努めてまいります。以上、がん検診についてのご説明となります。

(事務局)

続きまして歯口腔の分野から報告させていただきます。資料1の14ページをご覧ください。

「歯・口腔の健康」分野の目標として、「歯周病を有する人の割合の減少」や「歯の喪失防止」をあげております。そのためには、市民がかかりつけ歯科医を持ち、継続的な口腔疾患の予防や管理を行うことが必要です。かかりつけ歯科医を持つきっかけとなる成人歯科健康診査を、より多くの人に受診していただくため、取り組み(3)として成人歯科健康診査を受診した人への満足度と、受診していない人へのニーズ調査を実施し致しました。別紙の資料2をご覧ください。アンケート調査は、令和4年5月～7月の3か月間、子ども家庭相談課が実施しているママパパ学級の2日目に来所した、妊婦のパートナーを対象に実施し198名から回答をいただきました。同じく妊婦にも妊婦歯科健康診査に対するアンケート調査をしましたが、本日は成人歯科健康診査のみについて報告させていただきます。ママパパ学級に参加しているパートナーの年代を見ますと、20歳代と30歳代で77.8%を占めています。「松戸市の成人歯科健康診査を受けたことがありますか」という質問では「受けたことがある」と答えた人が9.1%でした。成人歯科健康診査の令和3年度の20歳代の受診率は1.0%、30歳代は1.2%なので、ママパパ学級の参加者は受診率が高いことがわかりました。「成人歯科健康診査を何で知りましたか」という質問では「紹介」が一番多く、次いで「市の事業・イベント」でした。ママパパ学級1日目で成人歯科健康診査の啓発をしておりますので、「紹介」とはパートナーである妊婦からの紹介が多いのではないかと思います。成人歯科健康診査を受診した人の満足度は、「満足」「やや満足」を合わせると50.0%という結果でした。やや不満と回答した人が5.6%であり、その中には予約方法に不満を感じている人がいました。成人歯科健康診査を受診したことがないと回答した人のうち「成人歯科健康診査以外の歯科健診を受診していますか」という質問に、「はい」と回答した人は36.1%であり、今回の調査では、歯科健診を全く受けていない人は62.2%という結果でした。今回の調査から、健診を受けてもらうためには、チラシやSNSのみの発信で終わらせず、直接対面でお伝えできる場面が大切であると考えます。受診方法をわかりやすく説明するとともに、歯科医院に定期的に受診する事の必要性を丁寧に伝えてまいります。

また取り組みの(4)として、今年度から開始した75歳以上の成人歯科健康診査受診者に対する口腔機能検査の結果を集計し、令和5年度からオーラルフレイル予防プログラムへ繋げるための抽出項目を現在検討中です。

取り組み (5) としては、成人歯科健康診査の受け方を、より分かりやすく伝え受診に導けるようチラシを新たに作成しました。こちらは国保年金課で特定健診受診者へ 10 月から送付を開始しております。以上で、歯・口腔の健康分野の説明を終わります。

(事務局)

健康マイレージ担当斎藤です。宜しく申し上げます。まつど健康マイレージについては、取り組みとあわせて、令和 4 年度の上半期の実績、家族 de チャレンジについてご説明いたします。資料 1 の 19 ページとあわせて、資料 3、資料 4 も順次ご覧ください。

今期より、対象を 18 歳以上に変更したことに伴い、取り組み (5) として、市内 4 大学にポスターやパンフレットによる周知にご協力をいただいております。資料 3 の第 7 期応募状況を見ますと、9 月末時点の応募件数は、2,558 件と、第 6 期の同時期よりも約 200 件多い状況となっておりますが、「若い世代の参加の増加」には至っておらず、表 2 に記載しましたとおり、男女ともに 70 代以降の方の応募が大変多くなっております。健康寿命の延伸のために、ご高齢の方が継続してマイレージに参加しやすい環境を維持するとともに、若い世代の参加者が増えるような働きかけを引き続き検討してまいります。資料 3、表 2 には第 7 期の性別・年代別応募件数、表 3 には本事業への参加理由をまとめてありますが、いずれも例年と同様の傾向となっております。裏面の表 4 をご覧ください。本事業に参加したことによる健康意識について、高まった人は 8 割を超えております。表 5 は、応募用紙の「自分マイル」欄に記載の、主な取り組み内容となっております。最も多いのは、「ウォーキングをする」で、3 割を超えております。次いで、バランスのとれた食事をする、よくかんで食事をするなど「食生活に関すること」、1 日 6 時間以上の睡眠をとるなどの「睡眠・休養に関すること」が続いております。応募者の多くが、健康について意識し、生活されていることが分かります。こうした健康意識が高まった人への継続的な働きかけを考えていくことに加え、健康への意識・関心が低い人や、実際の健康行動に結びつきにくい人へのアプローチの手法を引き続き検討していかなければならないと考えております。表 6 をご覧ください。ガンバマイルの累積状況といたしまして、累積数上位 10 名の年代・性別・ガンバマイル数を記載しております。現在、3,000 マイルを超えた「応援団長賞」該当者は 80 名となっております。また、2,000 マイルを超えた「けあら賞」該当者は 164 名、1,000 マイルを超えた「三師会賞」該当者は 518 名となっており、多くの方に継続して応募いただいております。今後も、多くの市民の方の健康づくりの取り組みが継続されるよう、広報特集号や、各種 SNS などを活用した周知を行ってまいります。

事業プランの取り組み (2) の家族 de チャレンジ健康づくりについては、資料 4 をご覧ください。昨年度同様、夏休み期間に市内 45 校の小学 4 年生から 6 年生までを対象に実施しました。

「4. 参加状況」ですが、今年度の参加者は 838 名で、昨年度とほぼ同じ実績となりました。参加者には、昨年度同様、表彰状と参加賞を送付し、本日配布しております「家族 de チャレンジカレンダー」など、啓発物を数種類同封し、今後も生活習慣に関する取り組みを継続できるよう働きかけを行ってまいります。資料 4 の裏面「5. 評価」に記載のとおり、次年度に向けては、より多くの児童、保護者に取り組んでいただけるよう、小学 3 年生以下の学年も対象にすることはできないか、現在検討をすすめております。

第 7 期の期間もあと 2 か月ほどですが、引き続きより多くの参加者、特に若い世代の参加の増加を図るため、アプリ化などについても視野に入れた検討を重ねてまいります。以上、健康マイ

レージの報告とさせていただきます。

(古畑部会長)

それでは、事務局からのご説明が終わったというところで、委員の皆様にご意見を頂戴したいと思うのですが、その前に今日配布されている「たばこスワンで思いやり」「家族 de チャレンジ健康づくり」など、いくつかプラスのチラシがある様なのですが、補足の説明などあれば、ぜひお願いしたいと思いますがいかがですか。

(事務局)

喫煙担当の松田です。先ほどもご報告差し上げたのですが、「タバコをスワンで思いやり」につきましては、薬剤師会の方と協議させて頂きまして、今年度作成したチラシとなっております。これから各禁煙支援薬局等、たくさんの方の目に留まるような所で配布を考えております。

また「家族 de チャレンジ」の方にも禁煙の啓発物を入れさせて頂いております。

(古畑部会長)

ありがとうございます。それでは事務局から、喫煙、がん検診、歯と口腔、マイレージの4つについてご説明がありました。委員の皆様方から、まず喫煙について何かご意見があればぜひお願いしたいと思うのですがいかがですか。

(水嶋会長)

横浜市立大学の水嶋でございます。たばこの禁煙支援薬局と連携してということですが、これは松戸市のホームページ等で、どこに禁煙支援薬局があるかわかるのでしょうか。あるいは禁煙外来が松戸市内には多いと思いますが、リストやマップなどは、作っているのでしょうか。

(事務局)

はい、禁煙支援マップの方も作成しておりまして、今更新中ですので、また令和4年分が完成しましたら、ホームページの方に新しいものと差し替えて公開予定になっております。薬剤師会さんのホームページにも禁煙支援薬局は掲載されているようですので、そちらからも確認頂けます。

(水嶋会長)

松戸市ホームページから薬剤師会ホームページに移行するものがあるのですか。

(事務局)

本日資料としてお渡しはしていませんが、毎年、「禁煙支援マップ」という形で、禁煙支援薬局と、禁煙外来を一覧にしておりまして、特定健診や母子保健の方でも喫煙している方には情報提供としてお配りしております。

(古畑部会長)

その他、いかがでしょうか。

(小田委員)

たばこの一般的な問題について聞きたいのですが、今全国では受動喫煙の問題でかなり喫煙場所が制限されていて、喫煙できなくなる人達が皆公園に集まって公園で吸っているという事で、公園に行く若い親御さん達から非常に文句が出ている状況なのですが、松戸市はどうでしょうか。

(事務局)

松戸市の方でも今年度、やはり公園での喫煙については相談がございまして、そちらに関しましては公園緑地課等、公園に関する課と相談させて頂いております。また、地区によりましては、重点地区ということで市民安全課と連携し、対応させて頂いているところでございます。

(古畑部会長)

その他、いかがでしょうか。

(石川委員)

未成年者の喫煙についてですが、今コンビニエンスストアの働いている方が外国人のことがあり、日本語ができるが深くは分からず、買いに来た人の年齢確認をしないとタバコを買うことができないはずなのですが、そこがなくなってしまっていて、たやすく買える状況があるというお話をききました。なので、未成年の親としてはコンビニエンスストアの方にも、未成年者の喫煙はいけないのだよ、というようなのがあるといいのかなと思いました。

(古畑部会長)

はい、ありがとうございます。事務局の方で、コンビニ等々のトラブルや啓発をしている等何かありますか。

(事務局)

今のところ、コンビニ等で喫煙に関する何か啓発を行っているわけではございませんので、今後検討させて頂きたいと思います。ご意見ありがとうございます。

(古畑部会長)

貴重なご意見ですよね。今コンビニというのは、誰でもコンビニですので、飴玉ついでにみたいなことで、日本の条例や法律を知らない店員さんが、たやすくタバコをそのまま受け渡すなんてことは、前のたばこ屋のおばちゃんがいれば、ちょっと言って止められることもあったのでしようけれども、そういう意味で何かしら、たばこの対応という意味でも、健康づくりにおいても子供たちにおいて大変重要なことじゃないかなと思います。また、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(古畑部会長)

今回新規で、薬剤師会との取り組みということで、本日薬剤師会の先生はいらっしゃいませんが、例えば市内にどのくらいの薬局があつて、今どのくらい働きかけをしているのか、何かそう

いうマップ的なもので薬局との関わりというのも我々が目にでき、気楽に寄ると相談できるみたいなものも、相互に必要な情報ではないかと思ったのですが、事務局の方どうですか。薬剤師会を支点にして今何を進め、今後何をやっていこうとしているのか、ご紹介して頂ければと思いますがいかがですか。

(事務局)

先ほどもご紹介しましたが、松戸市の方で、松戸市禁煙支援マップいうものを現在も作成しておりますので、こちらの方に薬剤師会さんより、今年度 33 薬局と 8 月時点でご報告を受けておりますので、松戸市内に薬局さんが 150 弱位あると思うのですが、そのうちの 33 薬局さんが今年度手上げをして頂きまして、禁煙支援薬局として登録しております。

今、禁煙支援マップの方をお配りできればと思いますので、少しお時間を頂ければと思います。

(古畑部会長)

ぜひよろしくお願ひしたいと思います。それでは次のがん検診について伺わせて頂ければと思います。

(水嶋会長)

がん検診受診率は、確かコロナの時は、一度落ち込んでいるかと思うのですが、国の目標が各臓器別で 50% だと思います。松戸は子宮頸がん、乳がんの目標を 50% にしていて、29 年度の間値では乳がん検診が 44%、基準値 24 年度が 41.8% でしたので、少し頑張っって令和 6 年度 50% 達成できるようにしたらいいのではないかと思います。その他、特に胃がん検診が、伸び悩みで 10% 以下になっていますけれども、この辺は、胃がん検診として頑張っって最終目標値まで到達するような事業展開等、どのようにお考えでしょうか。

(事務局)

胃がん検診につきましては、今年度受診勧奨の再勧奨といいまして、一度過去に受診した方で最近受診してない方、具体的にいうと令和元年度に受けて、2、3、4 年度受けてない方に今年度再勧奨する予定なのですが、胃がん検診の再勧奨数を、今までより増やして、胃がんにも力をいれて再勧奨を行っっていこうと思っています。また、なかなか数字上は伸びてきてないのですが、最近の傾向としてはバリウム検査よりも、30 年度から始めている胃カメラの伸び率が大幅上がってきているので、母数としてはそんなに伸びていないのですが、バリウムから胃カメラに切り替えられている方もいますので、啓発にも力を入れていきたいと思っています。

(古畑部会長)

はい、他に先生方いかがでございましょうか。

私から一点、胃がんの件で、最近、ピロリ菌の対策を先にした方がいいのではないかというエビデンスが多く発表されてきていることをご存知かと思いますが、単に胃がん検診というよりは、ピロリ菌の検査をして、もしいたら、その対策をするなどはお考えでしょうか。いきなり胃がん検診という敬遠される可能性もあるのかなと思います。ピロリ菌は、幼児の時には広がるけれども大人になるとほとんど広がらないで胃に留まっているというようなことも最近耳にし

ます。胃がんというところまでいくまでに、子供の時にピロリ菌をチェックするなど、気軽に検査できれば、それほど先を怖がることもないと聞きます。その辺は、市として、胃がんとピロリ菌との関係はどのように把握されているのか、またピロリ菌についてこれから対策する予定などはいかがでしょうか。

(事務局)

現状としましては、がん対策としてピロリ菌の検査を検討はしていない状況です。がん対策、がんの死亡率を減らす等々の部分では、検診として、国の方で指針が出ていまして、どんな検査をすることががんを減らすのかというところで、今のところ胃がんの方は、胃カメラが推奨されていまして、バリウムは実施しても差し支えないという形になっています。ピロリ菌についてはまだ国の方で推奨するというところまでは公表されていけませんので、またその情報等を研究していきたいと思えます。

(古畑部会長)

はい、ありがとうございます。何かございますか。

(小田委員)

今のピロリ菌の話と同じような話なのですが、前回も少しお聞きしたのですが、子宮頸がんのヒトパピローマウイルスの話で、法律で規定されていて、政府も推奨するという事になったので、このがん検診の趣旨も当然ながらがんによる死亡を少なくしようということなので、ピロリ菌と同様に、ヒトパピローマウイルスのワクチンについても合わせて普及していったほうが検診の率も上がってくるような気もします。ご検討されるのであれば、ぜひご検討をお願いしたいと思えます。

(古畑部会長)

はい、ありがとうございます。それでは次の歯と口腔について、何か委員の皆様でご意見等ございましたらお願い致します。

(藤内委員)

まず取り組みの(4)ですね。口腔機能低下者に対するオーラルフレイル予防プログラムの方法ですが、75歳以上のデータを分析するとなっていますが、口腔機能低下症というのがあり、以前は65歳以上だったのですが50歳から引き下げられました。ですので、75歳以上のデータしかないのです、そのころには大分衰えしまっているのです、前回も話しましたが、対象者を分けてその辺の年齢からやらないと、たぶん75歳以上のデータは、大分口腔機能低下症になってしまっている人が多いので、ご検討頂きたいと思えます。

それと、成人歯科健診の件ですが、あまり知らない人がいると書いてありましたが、これ非常に良いデータで、「どのような歯科検診なら受診してみたいですか」と資料2に書いてあります。クリーニングをしてもらえると嬉しいと書いてあります。今のところ20歳と30歳だけが歯のクリーニングをするということになりますが、先日市長にもお話ししましたとおり、成人歯科健診の通知を出すと、10倍以上受ける人が増えます。その時にぜひクリーニングをつけて頂ける

とますます増えると思いますので、ただいろいろとお知らせするよりも、何かしてもらえる、きれいになるのだな、ということがあると、もう少し伸びると思いますので、検討して頂きたいと思います。

(古畑部会長)

はい、ありがとうございます。その他ございませんでしょうか。

(事務局)

歯と口腔の担当から、和田と申します。最初に、オーラルフレイルの方で75歳以上の抽出だと遅いのではないかとということで、こちらはハイリスクの方で、確かに進んでいる方は多いとは思いますが、ハイリスクの方のアプローチということで家庭訪問して個別にというところの抽出対象で、手厚くできる方です。それと、若い世代の方は、ポピュレーションアプローチということで、今は高齢者の集まりのところで講話や口腔機能検査をしながらグループにあった運動などをお伝えしているのですが、これをもう少し若い世代にということは今検討中です。健康に関係ないイベントなどでも、もう少し行えると良いかと考えております。

2つ目の、成人歯科健康診査のクリーニングをしてもらえると受けてみたい、という結果が出ている件については、確かに動機付けに非常になるとと思いますので、こちらは今後検討させて頂き、先生方とも協議させて頂きたいと思っております。以上です。

(古畑部会長)

はい、ありがとうございます。その他ございますか。なければ4つ目のマイレージについて何かご意見いただければと思うのですが。

(小田委員)

1つ要望があるのですが、健康マイレージの今回7期ということで、そろそろ、これまでいろいろ頑張ってきたわけなので、その成果というか、評価をとりあえず中間的に1回位したほうがいいかなという気がしています。その点賛同できるのであれば、市の方に考えていただいて、せっかくやってきた事業で、お金も使っているわけなので、成果としてきちんと評価されるほうがよろしいのではないかとというのが1点です。

それから健康マイレージの新しいパンフレットを頂いたので、少し意見を申し上げますと、今のパンフレットは、すでにマイレージが普及して、皆さん分かっているということであればよろしいのですが、マイレージがどういう目的で、どうすれば今後マイレージに参加できますよ、というのが分かっている人以外分からない内容だと思います。ですから、マイレージの対象が誰で、どうすれば点数がたまって、それを最終的にまとめてどうするというようなことを、一番始めに書いて頂くと、読んだ人がもう少し分かりやすいかと思います。

件数として、そろそろ今の人数がこれ以上増えないのか、あるいは市民の人数を考えれば増やせるのではないかなど、そのあたりもご検討頂いて、新規の人をできるだけ獲得するようなことも考えられたらいかかと思いましたので、非常に僭越ですが申し上げました。

(古畑部会長)

私も今、同じ気持ちでいるのですが、この対策がいつまでどのように、次にどのような対策を考えていくのかという、国との流れもあるでしょうし、県との流れもあるだろうと思うのですが、その中で、やはりマイレージというのが、健康づくり対策に相当効果を上げていると前向きに見た場合、先ほど委員がおっしゃったとおり、さらにこれをどのように市民に対応していくのが良いのか、やはり1度評価をきちんとした上で、次に繋げるということをやっていないと、ただやっていますというだけではいかななものかと私も思っていました。

先ほどの歯科のお話ではないのですが、やはりいろいろな歯科健診をやりつつ、また75歳というフレーズもありつつ、これから次の健康づくり対策にどのように対応していくのかということも、次の何かの会議の時には構想を紹介して頂く機会があればと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

(古畑部会長)

それでは次の議題に移っていきたくと思ひます。議題(2)秋の健康フェスティバルについて、事務局よりお願ひします。

(事務局)

健康推進課石川です。秋の健康フェスティバル2022についてご説明をさせていただきます。資料は、こちらの健康フェスティバルの方のチラシをご覧になって頂ければと思ひます。

今年度、3年ぶりに開催します「秋の健康フェスティバル」ですが、11月6日(日)、小金原体育館で行います。今回は「健康日本21(第二次)推進松戸市大会 秋の健康フェスティバル2022～あなたの健康度をチェック!with健康松戸21応援団～」と、題しておりますように、公益財団法人健康・体力づくり事業財団の支援を受けての開催となっております。当日資料としてお配りしましたこちらの「健康づくりサポートします!」という、健康・体力づくり事業財団の方のチラシも机の方にお配りさせていただいております。

健康フェスティバルのイベント内容になりますが、資料5の裏面の方にも書いてありますように、健康松戸21応援団にご協力いただき、ステージでは5つの応援団が太極拳やストレッチなどの健康づくり体験を実施していただきますほか、ブースとしては7つの応援団にご協力頂き、隠れ脳梗塞発見チェックあるいはベジチェック、健康推進員さんの方ではロコチェックなども行って下さいます。もちろん健康松戸の分野の方でも啓発ブースを実施させていただきます。また、松戸市の方では8月にプロバスケットボールチーム「千葉ジェッツふなばし」と包括連携協定を締結しており、今回は、千葉ジェッツ専属チアリーダーズ「スタージェッツ」のメンバーからお2人の方をお招きして、小学生を主に対象としたダンス教室も実施いたします。過去の開催では300名ほどのご来場をいただいておりますが、参加者の年代が比較的高めの方が多いという傾向もある中で、人数限られての募集という形ではありますけれども、スタージェッツのダンス教室の企画が、小学生とその保護者あるいは若い世代のイベント参加、健康づくりへの啓発に繋がればと考えております。

健康フェスティバルの開会式の方では、健康松戸21応援団の表彰も併せて実施いたします。今年の応援団表彰の対象である応援団は資料6の方に49の団体一覧にして、お配りしております。こちらの団体の方に今ご連絡をしております、今のところ49団体のうち13団体は会場の

方に行きますとの事でご連絡を頂いております。まだお返事が保留という団体さんもありますので、当日までにもう少し増えるかなと思っております。当日は、感染対策に留意しつつ、応援団をはじめ、多くの方の健康づくりに貢献できるイベントとなるよう実施してまいりたいと考えております。以上です。

(古畑部会長)

はい、ありがとうございました。令和4年度応援団表彰対象一覧について、もうすでに11月6日に表彰式があるということ、この団体の方々のご存じなのでしょうか。

(事務局)

はい。7月に1度ご連絡を差し上げまして、改めて10月にも2度目のご連絡を差し上げたところ、です。

(古畑部会長)

はい、ありがとうございます。私は聖徳大学ですが、聖徳大学の名前がないので、たまたま機会があれば教えて頂ければと思います。よろしくお願い致します。それでは、次の議題(3)の市民アンケート調査について、事務局から説明をお願いしたいと思います。

(事務局)

健康推進課渡邊でございます。よろしくお願いいたします。昨年度より、皆様にご審議いただきおりました市民アンケート調査のご報告をさせていただきたいと思っております。資料については、資料7でございます。「健康づくりに関する市民アンケート調査」の実施につきましては、5月の健康づくり推進会議でご説明させて頂きました。20歳から79歳までの市民5,000名を無作為抽出して、先日10月7日に調査票を発送したところ、でございます。調査の回答につきましては10月31日(月)までとしております。10月18日には御礼状兼督促状のはがきも発送したところ、でございますが、直近10月25日現在の回収状況につきましては、1,187件(23.7%)となっております。

今後の予定でございますが、回答いただいたものの中で、性別、年齢の回答があるものを有効回答といたしまして、性別、年齢、地域などの基礎データとクロス集計をしたいと考えております。また、計画の評価に関連する質問につきましては、平成25年度、平成29年度のデータと比較をして、最終評価に活用してまいります。

なお、これまでの審議会において、分野の指標の中で努力目標として掲げている目標値について、中間評価が不適切ではないかのご指摘をいただいたものがございます。例をあげますと、「栄養・食生活」の朝食を食べる人の割合の中で、小学2年生の目標値を「100%に近づける」としたところ、でございます。策定時の値は99.0%なので、これに対しまして、中間評価時の値が98.8%とマイナス0.2%であったため、5%以上の改善が見られないというところで、中間評価では「D 策定時より悪化した」というように、機械的に評価したところ、でございますが、この評価は不適切ではないかのご意見ご指摘をいただいたところ、でございます。従いまして、最終評価の際には、評価の基本的な考え方を踏まえつつ、努力目標の目標値についても適正な評価となるよう留意していきたくと考えております。

健康松戸 21（第二次）の最終評価報告書が先日公表されたところでございますが、健康松戸 21IIIの最終評価が適切なものとなるよう十分に検討し、国や県の最終評価と比較しつつ、次期健康増進計画の策定準備をすすめてまいりたいと考えております。2月の第2回健康づくり推進会議では、単純集計をもとにしたご報告が可能になると思われませんが、引き続きよろしくお願いたします。以上でございます。

（古畑部会長）

はい、ありがとうございます。ただいまご紹介頂いた健康フェスティバルについて、さらに市民アンケートにつきまして、ご意見がございましたらぜひこの時間にお願したいと思いたすがいかがでしょうか。

（石川委員）

場所が小金原体育館なのはどういった理由からなのか、教えて頂けますでしょうか。

（事務局）

3年ぶりということで、前は運動公園で実施させて頂いておりました、実は今回も運動公園でと企画しておりました。ところが選挙が近いことや、運動公園は、他の運動団体の大会時期と重なるということで、そちらの大会をどうしても入れなければいけないということで調整がつかず、今回は小金原の体育館であれば譲れるということで、小金原の体育館にさせて頂いております。

（石川委員）

ありがとうございます。千葉ジェッツのチアリーダーの方がいらっしゃるの、運動公園の体育館じゃなくても、外の芝生の上で子供たちとできればと思ったので伺ってみました。ぜひ、そういうところできるように調整をお願いします。

（事務局）

ありがとうございます。

（古畑部会長）

会場は体育館でどの位入る規模なのですか。

（事務局）

広さでいいますと 40メートル×25メートルで、ブースが全部で 12 出ますが、1つのブース辺りが 6メートル×4メートル取っても間隔をしっかりと取ることができます。

（古畑部会長）

せっかく今千葉ジェッツのお2人を呼んでいるので、子供たちも相当喜ぶでしょうし、もしこれが広がればいっぱい来るのではないかとわくわくして聞いていたのですが、あまり人数が入らないと断りますみたいになるとどうなのかなと思ったので、余計な心配をしてしまいました。

(石川委員)

ちょっと行きづらいですね。

(加藤委員)

大きさはバドミントンコートが余裕で 6 面あります。私たちはスポーツ事業をやっておりますが、だいたいバドミントンコートで 6 面たっぷりありますので、大丈夫だと思います。

(古畑部会長)

はい、ありがとうございます。その他、市民アンケートでも何かありますか。

(水嶋会長)

アンケートは最終チェックさせて頂きました。回収率が前回 50%を切ってしまっていて、実施時期の影響もあるのではないかという議論もありました。今回、秋に実施して頂いてしっかり 50%超えて 6 割程度まで伸びるといいなと思っております。よろしくお願いします。

(古畑部会長)

2月の会議の時には、概要が部長から提示されるというご案内ですが、これが次期対策の基礎データになっていくのででしょうし、今いろいろな、喫煙・がん検診・歯、口腔等々のイベントも踏まえて、やはりまとめ方も、単なるまとめ方ではなくて、次に繋がるようなことも少し突っ込んでまとめて頂くと、対策もいろいろ見えてくるのかもしれないなと思っています。よろしくお願いします。

それでは、次の議題に移ります。議題(4)その他ということで、事務局からご説明をお願いしたいと思います。

(事務局)

健康推進課 村岡でございます。本日は、令和4年度健康松戸 21Ⅲの事業プランの進捗についてご報告し、ご意見を頂戴したところですが、次年度に向けて、松戸市の健康課題である糖尿病対策について本日資料はお配りしていませんが、口頭でご報告させていただきたいと思っております。

健康松戸 21Ⅲは、国の計画である健康日本 21 (第2次)、県の健康ちば 21 (第2次)にも沿った計画となっており、その中で糖尿病対策も進めているところです。しかしながら、現状においても本市の糖尿病対策は健康寿命延伸に向けて大きな課題となっています。と言いますのは、国民健康保険加入者のデータから近年の松戸市の糖尿病患者の状況を見ますと、糖尿病患者数は増えていますが、県や同規模自治体、国と比べ少ない傾向が続いています。一方、糖尿病の合併症が進行した結果としての糖尿病性腎症患者数は県、同規模自治体、国と比べ多くなっているという状況が続いております。これらのデータからは、改善可能なうちの糖尿病を受診せず放置し、重症化して合併症が生じてから受診している方が多いということが推察でき、糖尿病が重症化する前の川上対策、特に健康づくりにおける糖尿病予防を強化していく必要があると考えられます。

そこで、次年度、令和5年度事業プランでは糖尿病対策の方向性をまとめたページを設け、次

期計画、健康松戸 21IVの策定に繋げていきたいと考えております。具体的なプラン立案については、庁内横断的に進めていき、2月の健康づくり推進会議において、方向性についてご報告させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

(古畑部会長)

はい、ありがとうございます。ただいま事務局からその他ではあるのですが、重要な今後の対策について糖尿病についてのご説明がありましたけれども、先生方何かご意見をお願いしたいと思います。

(水嶋会長)

ありがとうございます。そもそも、特定健診、特定保健指導が平成20年(2008年)からスタートした時も、糖尿病等の生活習慣病を予防するためというのが目標になっていました。本市は、特定健診、特定保健指導の割合が伸び悩んでいるところで、資料1の5ページ、6ページが特定健診、特定保健指導ですが、東葛地区で、やはり一番数字が低いところで、平成20年度と令和2年度がありますが、あまり伸びていない。その結果、糖尿病等のコントロールの悪い人が増えていって、合併症が増えるという流れ、ストーリーみたいなものが考えられるかと思います。

関連して、まつど健康マイレージのパンフレットの項目一覧の左下が、糖尿病関係ですが、これでは、まず男性が県の平均、国の平均よりも、空腹時かどうか確認できませんが血糖値とHbA1cの高い人の割合が多くなっています。HbA1cが6.0~6.4で予備群、6.5以上だと糖尿病を疑われると思いますが、千葉県のが約60%に対し75.4%となっています。右側が女性ですが、血糖値で20.8%、HbA1cで予備群と糖尿病疑い合わせてほぼ8割というのは、本当かなと信じがたいのですが、KDBシステムでデータになっています。また、どの辺りが予備群でどの辺りが糖尿病としてみなすというのを下に囲ってありますが、HbA1c 5.5%以下が基準で、その下にスペースがありますので、次回更新の時には「予備群は6.0~6.4、糖尿病が6.5以上」と加筆して頂くと市民の方々に周知できるかと思います。いろいろな手を使ってどういう状態が糖尿病であると、早めにちゃんと治療が必要ですよということを、メッセージとして伝えて頂くと良いかと思います。

(古畑部会長)

はい、ありがとうございます。

(小田委員)

私は学生に講義することもあります。その時に、いわゆる予防が可能な病気で最悪の病気は糖尿病だよと教えています。糖尿病は、ほとんど自覚症状がないものですから、ずるずるいって、気が付いた時には血管も神経も相当やられているというような状況なので、できるだけ早期から啓発するという事は、非常に重要なことだと思っております。あまり結果だけみて、こんな病気になっちゃう、こんな病気にもなっちゃうというのは、ちょっとやりすぎかなと思ったりもしますが、そういったことも含め全体として糖尿病に対応していく必要があるのではないかと思います。ありがとうございました。

(古畑部会長)

はい、ありがとうございます。口腔ケアと糖尿病というのは関係するエビデンスもあるというお話ですが、藤内先生、その辺についてお願い致します。

(藤内委員)

私、糖尿病の会議にも歯科医師会の方で出ておりますが、やはり糖尿病の先生から紹介状も一応あるのですが、お互い見たこともない、出したこともないというような状況なので、その辺が繋がってくると、歯科や眼科の方も繋がって行くと思いますが、そこら辺がうまくいっていないのかなという気がします。その辺りがうまくいかないと口腔ケアはできないのですが、ただ、歯科の方には糖尿病の初期ぐらいから歴然と歯茎が下がったり、入れ歯が合わなくなったり、口が渴いて虫歯が増えたりとか、徐々に始まります。その段階で見つけると、かなり予防に繋がると思います。なかなかそこが難しいので、やはり糖尿病の先生などと連携できると、目の方もそうだと思うのですが連携できればと考えて、協議会には出ています。お互いに、なってしまった人の治療はしていますが、予防に繋がるとするのは、なかなかうまくいっていないのかなという感じがします。

(古畑部会長)

はい、ありがとうございます。今、小田先生もおっしゃった通り、ただ脅かすだけではなく、日常こういうふうに予防すれば怖くないのだよという、何か対応のエビデンスもあると思います。今日ご欠席の医師会の笹田先生もいらっしゃいますし、ぜひ今回の市民アンケートも踏まえつつ、次の健康づくり対策において、次の会議では、こんな事も考えているということ、早めに目に見えるような形で相談していくと、良い次の対策が得られるのではないかと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、他に今回のフェスティバル、市民アンケートについてご意見ありますでしょうか。

(藤内委員)

一つ言い忘れました。健康マイレージの年代別などをいつも毎回みているのですが、必ず 70 代、80 代ですよね。もともとこの健康マイレージは、特定健診などの件数を増やそうということをやっているのですが、75 歳以上になってしまうと、特定健診ではなくなってしまうので、マイレージはそれを呼び込むための考えでやり始めたと思います。ここを思い切って何か変えないと、たぶん、ずっとこのままだと思います。だから極端なことを言うと、75 歳以上は福祉長寿部の方に完全に移してしまっていて、若い方の特定健診の方を集中的にするなど、次の時まで少し考えてマイレージ事業の方向転換をと思います。

また、家族 de チャレンジですが、対象年度の拡大について検討と書いてあります。保護者の年代は 30 代からになっていますので、これを拡大ということは、下に下げる、つまり 1 年生 2 年生の方に下げると、30 代・20 代の保護者が増えるかもしれないですが、やはり 40 代・50 代位が特定健診に繋がってくると思うので、本当は対象学年を下げるのではなく、上げて中学生にすると、保護者は 40 代・50 代位になってきます。中学生の親御さん達だと、ちょうど反抗期で口もきいてくれないかもしれませんが、検討して頂くと良いかと思います。

(古畑部会長)

はい、ありがとうございます。せっかく藤内先生がおっしゃって頂いたので付け加えて頂きたいと思います。歯科健診は、今まで虫歯ということで、ずっと子ども達にもやってきたと思うのですが、これからは、糖尿病や認知症の話もあるので、口腔ケアは年をとってからやりますと言ってもなかなかたどり着かない、そうするとやはり、子供の時から、言わば産まれた時から何かしら、これは国の対策にも通じるのかもしれませんが、ぜひ松戸市として、歯科健診というか、アドバランをあげるきっかけをつくっていてもいいのではないかなと思います。

成人健診が、どのようにエビデンスとして次の対策に繋がっているのか、せっかくいろいろなアンケートをやっている、それがどうやって次の世代に対応しているのか、どうしているのか。ただアンケートをお願いします、というだけでやっています、ということではないのだと思います。ですので、ぜひそれを次の健康づくり対策に、それもまとめて、いつの時点から口腔ケアというのが必要なのか、それは高齢者だけではないと思うのですね、赤ちゃんからもう始まっていると思いますので、ぜひそういったものをデータとして次にご紹介頂くと、松戸市の対策が濃くなるのではないかなと期待をしていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

(小田委員)

今のご発言に関連して、私は先ほど「評価したらどうですか」と、健康マイレージ等について言ったのですが、それはどういうことかと言うと、その評価したものを全国紙みたいなものにまとめて、松戸市ではこういう記録的な事業をやっていますと、その結果こういう成果が出て、あるいはこういうことがまだ問題として残っておりますというようなことを、一つまとめられたらどうかということをお願いしたかったわけで、それは今の部会長さんや藤内先生のお話とも通じるかと思ひます。ぜひそういったことも検討して頂ければと、具体的には「厚生指標」という全国紙がありますので、そういうところに出して頂くと、全国の自治体がそれを認識して、続けてやってみようかなど、なるのではと思ひておりますので、ぜひよろしくお願ひします。

(水嶋会長)

今、部会長から歯科と全体の健康づくりとの関係をおっしゃっていただきましたが、介護予防というのも健康づくりの目的になります。健康と要介護の中間が虚弱(フレイル)という言い方がありますが、全体的なフレイルと歯の口腔機能のオーラルフレイルの2つについて、10月30日に松戸歯科医師会主催の講演会で私がお話しますので、よろしかったらおいでくださいませ。以上です。

(古畑部会長)

はい、ありがとうございます。また、この配布されたカードについて、アナウンスされますか。

(事務局)

このシステムは、実際に稼働し始めるのが4月からです。今、QRコードを読み込んで頂くと「準備中です」という表示になりまして、4月になると予約画面がアップされる形になります。あまり早く配っても忘れ去られてしまうので、年明け位から本格的に配ろうと思ひております。

(古畑部会長)

はい、ありがとうございます。では、事務局どうぞ。

(司会)

古畑部会長、ありがとうございました。続きまして、次第(5)その他 に移りたいと思います。

(事務局)

本日はお忙しい中、皆様お集まり頂きまして貴重なご意見ありがとうございます。マイレージのまとめの件、次の計画を見越しての諸々の事、準備をやっていかなければと思っていたところではありますけれども、改めて先のこと、次の計画の事を見据えながらまた、取り組んでいきたいと思っております。

それでは最後にご連絡させていただきます。今後の審議会の開催予定について、ご案内をさせていただきます。第2回健康づくり推進会議につきましては、令和5年2月8日(水)の開催を予定しております。お忙しいとは思いますが、皆様ご都合を調整頂き、ご出席頂きますようよろしくお願い致します。

(司会)

それでは、以上をもちまして、令和4年度健康松戸21Ⅲ推進部会を終了いたします。本日は、ありがとうございました。